

平成27年度事業報告書

一般社団法人日本義肢協会の平成27年度の活動等は次のとおりである。

I 協会の運営

- 1 定期総会の開催 平成27年5月16日(土) 於：京都市
 - ・平成26年度事業報告、同決算報告承認の件
 - ・平成27年度事業計画、同収支予算案承認の件
 - ・役員改選の件
- 2 理事会の開催 平成27年5月16日(土)(臨時理事会) 於：京都市
 - ・業務執行役員の選任他平成27年10月30日(金)(通常理事会) 於：義肢会館
 - ・平成27年度事業(前期)実施状況の報告他平成28年3月25日(金)(通常理事会) 於：義肢会館
 - ・平成28年度定期総会の議案に関する審議等
 - ・平成27年度事業実施状況の報告ほか
- 3 監事会の開催 平成27年4月23日(木) 於：義肢会館
 - ・平成26年度事業実施状況・同決算の監査

II 事業の実施状況

1 専門委員会の活動

1) 研修委員会

① 第8回補装具製作事業者管理者等セミナーの開催

- ・後援 厚生労働省、(公益財団法人)テクノエイド協会
- ・時期 平成27年10月31日(土)
- ・場所 東京都江東区青海タイム24ビル研修室

- ・テーマ (4 題)
 - ・「トップアスリートのトレーニングと装具」
 - ・「医療業界における 3D プリンタの応用」
 - ・「3D プリンタの使用経験と応用事例の紹介」
 - ・「マイナンバー制度の概要～企業が行うべき実務～」
- ・講師 4 名
- ・参加者 116 名

② 第 4 回靴型装具製作者認定セミナーの開催

- ・時期 平成 28 年 2 月 26 日(金) ～ 2 月 28 日(日)
- ・場所 国立障害者リハビリテーションセンター大会議室
- ・受講者数 42 名
- ・後援 厚生労働省、(公益財団法人) テクノエイド協会
- ・協力機関 国立障害者リハビリテーションセンター
神戸医療福祉専門学校三田校 靴装具科
- ・内容 靴型装具の製作(関連 8 科目)の講義及び試験

③ 地方セミナー開催に対する支援

- ・北海道支部 : 「変形性膝関節症に対する症例・技術報告会」
- ・東北支部 : 「臨床から診る足部疾患～基礎編～」
- ・関東支部 : 「歩行支援機・ACSIVE」
- ・東京支部 : (関東支部と共催)
- ・中部支部 : 「カーボンプリプルグの装具製作法」
- ・近畿支部 : 「電気溶接・実技セミナー (TIG 溶接・アーク溶接)」
(義肢装具士協会西日本支部と共催)
- ・中国・四国支部 : (近畿支部セミナーに参加(後援))
- ・九州・沖縄支部 : 「IT・3D デジタル技術の義肢装具への活用」

2) 補装具委員会

① 委員会開催（平成 27 年 7 月 25 日（土））

- ・今後の委員会活動について協議
- ・会員事業所の現況等調査を実施（結果は全会員へ報告）

② 国立障害者リハビリテーションセンターが開催した補装具の適切な支給

実現のための制度・仕組に関する研究会及び国際フォーラム等への参加

（研究会：平成 27 年 7 月 25 日（土）、フォーラム：平成 28 年 2 月 13 日（土））

3) 治療用装具特別委員会

治療用装具の療養費をめぐる諸問題について検討を行うため、国における専門委員会の設置に向けて次の取り組みを行った。

① 義肢製作事業者、健康保険等各医療保険の保険者及び行政関係者による治療用装具の療養費に係る諸問題（特にいわゆる既製品装具の取り扱い等）に関する意見交換会における意見の表明等（3 回に亘り議論）。

② 専門委員会開催に向けた協会内での意見の交換、資料の作成・提供等

③ 「社会保障審議会医療保険部会治療用装具療養費検討専門委員会」への出席

（第 1 回 委員会：平成 28 年 3 月 29 日開催、於：全国都市会館）

・委員：学識者（3 名）、医師（2 名）、補装具製作者（3 名）

各保険者代表（6 名）、行政関係者（2 名）

・補装具製作者代表として、日本義肢協会理事長及び治療用装具特別委員会委員長並びに PO 協会会長が出席。

・検討事項：① 療養費に関する現状と課題

② 当面の検討事項（既製品装具のリスト化等）

4) 広報委員会

① 義肢装具士資格制度に係る啓発普及推進事業の実施

・義肢装具士証の交付 … (平成 27 年度の交付数 : 38 社 91 名)

…(平成 27 年度末現在交付数 : 203 社 1,866 名)

② 協会誌の編集・発行 (4 月、7 月、10 月、1 月) 毎期の編集委員会の開催

③ ホームページの運営管理等

④ 公益法人指導基準に基づく情報開示

(定款、役員名簿、事業計画書、事業報告書、予算書、決算書 (財務諸表等))

5) 50 周年記念事業検討委員会

① 記念誌発行に係る基本方針の検討

② 記念誌発行のためのワーキングチーム (広報委員の兼務) の設置

③ 記念式典の検討

◇ 記念誌発行開催ワーキングチームの開催

・平成 27 年 10 月 17 日、平成 28 年 1 月 23 日の 2 回にわたり検討

・基本方針 (編集方針) を踏まえた編集の具体的内容について検討

6) 倫理委員会

・治療用装具の療養費請求において、健康保険組合等複数の保険者から不正或いは不適切な請求として指摘のある事例について、事実の確認を行い当事者に対して適正な取り扱い方を要請するとともに、倫理綱領の遵守等周知・啓発に努めた。

2 「日本義肢協会賠償責任保険制度」事業

・加入者：会員事業所の全従事者 (常勤者) 281 社 4,694 名

・保険事故件数 9 件

(うち審査継続中…1 件)

・保険給付額(合計額) 2,919,958 円

3 障害者の社会参加推進のための各種大会等の協力

① 全国障害者スポーツ大会の協力

平成27年10月24日（金）から10月26日（月）まで 和歌山県で開催された第15回全国障害者スポーツ大会における車椅子等福祉用具の貸与及び補装具の修理・調整等業務につき、主催者(和歌山県知事)の要請を受け、協会 支部（近畿支部）より 技術者（延べ28人）を派遣し、大会の円滑な運営に協力した。

② 中央職業能力開発協会が行う技能検定試験の協力

中央職業能力開発協会が行った平成27年度「技能検定試験」の試験委員の協力につき、「義肢製作関係」及び「装具製作関係」の委員に、当協会より6名の委員を派遣し、当該試験の円滑な実施に協力をした。

4 義肢装具士養成校卒業生の顕彰

義肢装具士養成校において、学業に専念し優秀な成績を修め、義肢装具士として将来を嘱望され医療の普及高揚に寄与することが期待される学生に対し、学校長の推薦を得て、次の8校の卒業生（9人）に授与した。

- 専門学校日本聴能言語福祉学院 義肢装具学科
- 熊本総合医療リハビリテーション学院 義肢装具学科
- 神戸医療福祉専門学校 三田校 義肢装具士科（2人（4年制1人，3年制1人））
- 西武学園医学技術専門学校 東京新宿校 義肢装具学科
- 北海道ハイテクノロジー専門学校 義肢装具士学科
- 北海道科学大学 医療工学部 医療福祉工学科
- 新潟医療福祉大学 医療技術学部 義肢装具自立支援学科
- 人間総合科学大学 保健医療学部 義肢装具学専攻課程

5 日本義肢装具学会学術大会及び日本義肢装具士協会学術大会の協力等

関係団体が行う学術大会等について、義肢装具製作分野の発展・振興に寄与することから当該団体の要請に応え、役員及び会員の出席・参加等所要の協力を行った。

1) 一般社団法人 日本義肢装具学会 第31回学術大会の協力

- ・平成27年11月7日及び8日 神奈川県横浜市において開催
- ・大会テーマ：「地域リハビリテーションにおける義肢・装具・支援機器」
- ・シンポジウム等への役員並びに各会員の出席・参加

2) 一般社団法人 日本義肢装具士協会 第22回学術大会の協力

- ・平成27年6月27日及び28日 東京都 大田区 において開催
- ・大会テーマ：「モノづくりの原点回帰」
- ・大会及び各セッションへ役員及び各会員の出席・参加

6 国際交流関係

1) 平成27年10月7日から10月10日まで韓国義肢・補助器協会会長ほか関係者39名が来日。国際福祉器機展、国立障害者リハビリテーションセンター、公益財団法人鉄道弘済会、株式会社田沢製作所等を視察。執行役員及び支部長会メンバーにより懇親会を兼ね親善・交流を図った。

2) 平成27年11月14日から11月16日まで 韓国義肢・補助器協会 テクニカルシンポジウムに同協会から要請を受け、当協会から徳田理事長ほか4名の理事が韓国を訪問し、理事長が日本義肢協会の概要等について講演を行い、両国協会の親善・交流を行った。

7 国内情報の収集

国及び関係行政機関等から、補装具製作に係る各種の情報・資料の収集を行い、会員に対し周知の徹底と理解に努めた。

8 その他

1) 会員名簿の作成・発行

2) 価格表（平成27年度改訂版）の作成、印刷、配付

・障害者総合支援法、労災保険法における平成27年度価格表（含・完成用部品関係）改訂版を冊子に編纂して全会員に送付。

以上